

家庭教育学級の歩み

おくの義務教育学校家庭教育学級
委員長 一瀬 治代

1 おくの義務教育学校の学級目標

「活動を通して親同士の親睦を深め、子育てを一緒に学び合う」

2 学習活動の経過

(1) 6月27日(火)・開級式・講話

市村校長先生の話

一瀬学級委員長の挨拶(学級目標・役員紹介・年間計画)

・講話「こども食堂って何？」

講師 諏訪 浩子先生(きらきらスペース)

(2) 11月6日(月)・閉級式・講話

鈴木先生の話(牛久市生涯学習課)

・講話「成長期の健康と食について」

講師 飯田 晶子先生(栄養教諭)

3 実践を振り返って

(1) 開級式・講話「こども食堂って何？」

きらきらスペースの諏訪先生から、こども食堂についてお話がありました。

子供たちに食や居場所の提供、親同士の話すきっかけを作るなど、人と人の繋がりを大事にされている諏訪先生の講話に、普段からコミュニケーションが大切だということを実感しました。

出来る限りのお手伝いを一人一人に寄り添っていく姿勢など、大変貴重なお話をいただきました。



(2) 閉級式・講話「食育と給食試食会」

栄養教諭の飯田先生から、食育についてお話がありました。

成長期の健康と食について、減塩を県でも取り組んでいる事、給食を作っていた際の手仕事の多さ、朝食は学力や集中力に影響していることなど、食育の大切さについてご説明いただきました。

子供たちは毎日美味しいと話している給食をいただけていることに感謝いたします。

試食会では、飯田先生から子供の食についての悩み相談や給食のレシピを教えていただくなど大変有意義な時間となりました。



(3) まとめ

家庭教育学級を通して保護者同士の情報交換や子育てについて多くのことを学び、楽しく活動出来たことにとってもありがたく思います。

これからも子育てを通じて交流を広げ、成長を見守っていきたいと思います。

ご参加いただいた保護者の皆様、講話をいただいた講師の先生方、学校の先生方、生涯学習課の方々に感謝申し上げます。